

# なんたん

No. **39**

農業委員会だより

令和元年6月号



豊作を願って  
美山の春の風物詩

「お田植祭」

|              |     |
|--------------|-----|
| 農業委員会のうごき    | 2~3 |
| 地域農業を支える     | 4   |
| まちかど通信       | 5   |
| 特集           | 6   |
| 農地の賃借料情報 他   | 7   |
| なんたんあっちこっち 他 | 8   |

令和元年5月12日

美山かやぶきの里 お田植祭

発行 南丹市農業委員会 編集 南丹市農業委員会広報委員会

〒622-8651 京都府南丹市園部町小桜町47

■電話 0771-68-0067 ■E-mail co-nougyo@city.nantan.lg.jp

■FAX 0771-63-0654 ■URL <http://www.city.nantan.kyoto.jp/www/shisei/126/index.html>

# 農業委員会のうごき

## 若手農業者との意見交換会

2月14日、市農政への施策提言や要望に若手農業者の声を反映させることを目的に、農業委員会委員19人と就農期間が1〜8年の20〜40代の若手農業者12人と意見交換会を開催しました。

各地域の実情に応じた取り組みが求められるため、地域間で課題や意見を共有しやすくするために、旧4町のグループごとに分かれて進めました。委員が進行・記録などを分擔するなかで、若手農業者と懇談し、現在おかれている農業実態や施策に対する要望などを聴き取りながら意見交換を進めました。



旧町ごとにテーブルを囲い、活発な意見交換がおこなわれました (写真：日吉町グループ)



参加者から、全体に向けて大変貴重な意見を述べていただきました (写真：八木町グループ)

若手農業者から共通で出た意見は「鳥獣被害が大変なので防護柵設置の助成を拡大し、捕獲を強化すべき」という意見でした。そのほか、「まとまった農地を借りられるように農業委員会が地元で調整してほしい」「農産物のブランド化に力をいれてほしい」「府農業改良普及センター、JAなどを交えた情報交換の場がほしい」など、多数の意見や要望が出ました。

そして、最後に交流会として各グループからの報告があり、全体で意見や課題を共有しました。今回出た貴重な意見を、今後の農政に生かせるよう、取り組みたいと思います。

(取材：平野清久委員)

## 地域活性化への取り組み

京都府舞鶴市杉山集落を視察

農業委員会農政部会の、地域活性化をテーマにしたグループでは、地域活性化の取り組みの先進地として京都府舞鶴市の杉山集落を視察しました。

杉山集落でも本市と同様、住民の高齢化や、鳥獣被害、耕作放棄地の増大といった課題を抱えるなか、地域活性化に向けて、棚田米を利用した地酒販売や農園コンサートといった様々な催しを行うことで、他地域の住民との交流をはかっておられます。今後は、特産品を加工して販売するなど農村ビジネスを展開していくとのことです。

この研修で得た情報を参考にしつつ、農政部会での地域活性化の取り組みを今後、どうしていくべきか考える視察となりました。

(取材：谷本みどり委員)



▲取り組みについて話を聞く委員

# 農業委員会年間活動計画

|         | 7月         | 8月         | 9月         | 10月        | 11月        | 12月        | 1月         | 2月         | 3月         |
|---------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 総 会     | 5日<br>(金)  | 5日<br>(月)  | 5日<br>(木)  | 7日<br>(月)  | 5日<br>(火)  | 5日<br>(木)  | 7日<br>(火)  | 5日<br>(水)  | 5日<br>(木)  |
| 申 請 締 切 | 19日<br>(金) | 20日<br>(火) | 20日<br>(金) | 18日<br>(金) | 20日<br>(水) | 20日<br>(金) | 20日<br>(月) | 20日<br>(木) | 19日<br>(木) |
| 現 地 確 認 | 25日<br>(木) | 26日<br>(月) | 25日<br>(水) | 25日<br>(金) | 25日<br>(月) | 25日<br>(水) | 24日<br>(金) | 25日<br>(火) | 25日<br>(水) |

| 開 催 日      | 主な会議・事業名                  |                          |
|------------|---------------------------|--------------------------|
| 7月 8日(月)   | 荒廃農地等利用状況調査・農地パトロール(～12日) |                          |
| 8月 23日(金)  | 管内視察研修                    |                          |
| 10月        | 25日(金)                    | 農業委員会だより「なんたん」40号発行      |
|            | 下旬                        | 農地等利用最適化推進施策の改善に関する意見書提出 |
| 11月 14日(木) | 管外視察研修(～15日)              |                          |
| 2月         | 中旬                        | 農業者等との意見交換会              |
|            | 28日(金)                    | 農業委員会だより「なんたん」41号発行      |

- ・申請締切日までに提出いただいた申請は翌月の総会で審議されます。  
 (例) 7月18日に農業委員会事務局へ提出→7月25日に現地確認→8月5日の総会にて審議  
 7月22日に農業委員会事務局へ提出→8月26日に現地確認→9月5日の総会にて審議  
 ※現地確認を要しない申請もあります。
- ・締切に余裕を持って提出していただくようお願いいたします。

## CATVを活用して情報発信!

農業委員会委員が地域の皆さんへ情報発信する数分間の番組を「なんたんテレビ」(CATV・11CH)の週報(1日数回)で放送しています。農業委員会委員が自ら出演して情報発信しています。ぜひ、ご覧ください。



▲テレビの撮影風景です  
カメラの前で原稿を読み上げています

### 今後の放送予定

| 放送日              | 放送内容          |
|------------------|---------------|
| 8月24日(土)～30日(金)  | 遊休農地の発生防止について |
| 10月19日(土)～25日(金) | 農地の利用権設定について  |
| 12月21日(土)～27日(金) | 新規就農について      |
| 2月22日(土)～28日(金)  | 獣害対策について      |

## 農業委員会だより「なんたん」が京都府内で銅賞を受賞しました!

平成30年7月の委員改選で17人中13人が新しく広報委員として担当しており、最初は手探り状態でしたが、銅賞を受賞したことで大変自信になりました。これからも、良い紙面づくりを心掛けていくとともに、南丹市の農業を支えている人・団体や、「食・農業」をテーマにした地域での取り組みについて紹介していきます。(広報委員一同)

# 地域農業を支える

## あの人この団体!

地域農業の発展を目指し、力強く活動する  
団体・個人を紹介します。

### 農地を守る新しい取り組み Tanemomiプロジェクト

なかしまたかあき  
ブラッキー中島隆章さん (美山町和泉)



▲参加者で稲刈りをしました (※写真は昨年秋に撮影)

サイクリング好きが高じて美山町に移り住んだのは今から10年くらい前です。当時は今のように農業と関わりは思いませんでした。ところが移住からしばらくして気が付いたことは、わたしたちが見ていた風景の影には、農家の日々の営農活動があったということです。一生懸命、田畑を維持されていますが、それでも農地の維持が難しくなっていくことを知ったとき、その風景を享受しているサイクリストも、この問題に対して何か取り組むことができるのではないかと考えました。

私は、美山町でサイクリングのプロジェクトを立ち上げ、様々な自転車関連イベントを企画し、子供向け自転車教室を開催するなどして、全国のサイクリストに対し、サイクリングを通じて、原風景を守る意識を持つと広く呼びかけました。そして平成24年より、自転車教室に来ていた子どもたちに私が管理している田んぼで無農薬有機栽培での米作りを体験する「がんばっ田んぼ」という取り組みを始めました。内容は種まき、田植え、草取りや稲刈り、さらには収穫祭まで行い、1年を通して農村を感じる企画です。

また、昨年からは規模拡大に伴い、農作業体験に加え、活動のコンセプトを理解していただき、水路の維持管理などの共同作業を行ったり、運営費の協力などを活動内容とした「Tanemomiプロジェクト」を始めました。体験費用として田んぼの収益を安定させるだけでなく、参加者の人的労働力を広く集めることが可能となり、多くの田んぼが、多くの人に愛着を持って維持される効果を生み出しました。

現在では、約1万7千㎡の田んぼを維持しており、プロジェクトの参加者が地区の農事組合の活動に協力する機会も増えてきています。これからの農地維持の新たな方法として、今後も取り組んでいきたいと思っています。

(文書：ブラッキー中島隆章さん  
取材：倉内裕 委員)



▲水路維持の作業も大変重要な作業です



▲田植えのようす

# 法面にいっぱいの芝桜を

(日吉町上胡麻)



春になると綺麗に咲きます

この取り組みをきっかけに、各々で田んぼに防草シートを敷いたり、庭先に芝桜を植栽するなど波及効果も出ています。また、満開のときには地元の人に加え、通りかかった人たちも足を止めて写真を撮ったりしています。

これからは上胡麻のちょっとした名所になることを期待しています。

(取材：谷口定己 委員)

私たちにもできるかもしれないと思い、試験的な取り組みとして、平成29年〜30年にかけて区民の有志40名で約1500株の芝桜を植栽しました。おかげで草刈の負担は軽減され、さらには地域での協働作業ということもあり、地域内交流がさらに深まったと感じています。

り、地域の方たちで現地に行き実際にやってほ場を見たり、取り組みをされている方から話を聞いたりしました。



区民で植栽しました

日吉町上胡麻では、上胡麻区民センターの法面に防草シートを敷いて芝桜の植栽活動をしています。

元々は、農作業の中でも特に苦勞する田んぼの法面の草刈を軽減できる方法はないかと考えていた事がきっかけです。そのときに福井県大野市乾側地区、田んぼの法面に芝桜を植える取り組みをしていると知る取り組みをしています。

## まちかど通信

### 農産物直売所

# 桐の庄村

(園部町内林町)

農産物直売所「桐の庄村」は、園部町の内林町にあり、元々この地域は昭和4年に合併するまで桐ノ庄村として存在していたことから、直売所の名前の由来にもなっています。現在は区画整理され、住宅が建ち並ぶ状況であり、昔の面影は全くない賑やかな地域になりましたが、その中心部に直売所を設け、「旬な野菜を新鮮で安全に提供する」をモットーに、生産者・スタッフ一同奮闘しています。

直売所は、野菜の鮮度と質が売りであるため、栽培技術の改善や新しい品種栽培に挑戦するなど、お客様のニーズに対応するために生産者同士で研修会を開いて意見交換をしています。直売所周辺には道の駅やコンビニエンスストアなどがありますので、いかに特徴を出し、差別化を図っていくことが課題となっております。

これからも、地元の人に愛され、親しまれる直売所にしていくために努力していきたいと考えています。是非とも、お気軽にお立ち寄りください。

(文書：桐の庄村代表 崎山 豊さん  
取材：吉見有正 委員)



開催日 / 毎週水曜・日曜  
時間 / 7:30~11:30



直売所の店内  
新鮮な野菜を販売しています

# 特集



## 女性農業者の活躍！

### 有害鳥獣駆除で地域貢献

さわだ ちなつ  
**澤田 千夏さん** (園部町木崎町)



自然豊かな場所で子育てをしたいと思いい、4年ほど前に京都市内からこの南丹市園部町に引っ越してきました。地域の方々にあたたかく受け入れていただき、地域の方とお話しする中で、シカやイノシシによる農作物の被害が本当に多く、とても困っているということを知りました。なにか自分たちができることはないかと考え、鳥獣害対策のために狩猟を始めようと思いましたが、興味を持っていただけませんでした。

当初は趣味レベルで始めた狩猟ですが、シカやイノシシを捕まえることで地域のおいしいお米や野菜を守り、少しでも地域のみなさんのお役に立てていると思うと、とてもやりがいを感じています。今年の4月から、有害鳥獣駆除員という捕獲従事者にも選ばれましたので、これからは狩猟を頑張り、地域貢献していきたいと思えます。

(文書…澤田千夏さん 取材…寺尾義延 委員)

## 南丹市の誇る特産品

〜観光客に人気の美山牛乳製品〜

美山牛乳の工場は、美山町安掛にある道の駅「美山ふれあい広場」の敷地内にあります。美山牛乳の特徴は大手の工場ではできない製法を採用しており、美山町内の3軒の酪農家で取れた新鮮な生乳のみをパスタライズ※という85℃15分の保持殺菌に時間をかけて行い、牛乳本来の風味を大切に製造し、連日、観光客で賑わっています。



▲美山のめぐみ牛乳工房 連日、観光客で賑わっています

主力の牛乳の他に美山牛乳をたっぷり使ったスイーツ、ソフトクリーム、美山産のブルーベリーや栗をブレンドしたジェラート、美山産平飼卵のプリンやシュークリームを作り、道の駅の敷地内にある「美山のめぐみ牛乳工房」で観光客に販売を行っています。一番人気はソフトクリームやジェラートになり、一日に1500個ほど売れています。昨年は「関西道の駅ソフトクリーム総選挙」で1位の評価をいただきました！食べた時に広がる素材の味わいと、スツキリ感を大切に調合しています。春からは新しい商品もあり、益々お客様に満足いただけるよう、商品展開をしています。



▲すべてのジェラートに美山牛乳を使用しています



ます。(文書…中島和行さん 取材…倉内裕 委員)

※パスタライズ牛乳は、牛乳の栄養や性質を損なうことなく、有害菌のみを除去した牛乳のことです。市販の牛乳よりも消化吸収がよく、さらにカルシウムの吸収率が高いといわれています。

# 農地の賃借料情報

平成30年1月から12月までに締結（公告）された南丹市の賃借料水準（10アールあたり）は下表のとおりです。農地の賃貸借契約の際には、あくまで目安として活用してください。貸し手と借り手で十分に話し合い、お互いが納得できる額で決定してください。

●田（水稲） (単位：円/10アール、筆)

| 地域区分           |         | 平均額   | 最高額   | 最低額   | データ数 | 使用貸借<br>(無償)<br>データ数 |
|----------------|---------|-------|-------|-------|------|----------------------|
| 市街化区域          | 園部・八木地域 | —     | —     | —     | 0    | 5                    |
| 市街化区域<br>以外の地域 | 園部・八木地域 | 4,200 | 8,000 | 1,000 | 335  | 292                  |
|                | 日吉地域    | 5,100 | 8,000 | 3,000 | 44   | 81                   |
|                | 美山地域    | —     | —     | —     | 2    | 109                  |
| (参考) 南丹市平均     |         | 4,300 | —     | —     | —    | —                    |



## 農業者年金加入者の声



支払った保険料が社会保険料控除の対象となることや経営状況にあわせて保険料を設定できるといったお得であり、将来の備えになる農業者年金。今回は、平成29年に加入された大川倫正さんおおかわみちまさにお話を伺いました。

元々、農業者年金についてそこまで知りませんでした。農業委員さんと農業委員会事務局の職員さんの加入訪問をきっかけで知りました。詳しく説明を受ける中で、社会保険料控除が一番のメリットだと感じたのが加入の決め手でした。社会保険料が控除されていることによって、節税につながっているので、非常に助かっています。

20～39歳までの方なら、保険料の3～5割を国が補助していただける政策支援加入という制度もありますので、若いうちは老後のことは考えにくいかもしれませんが、加入できるタイミングで加入されることをおすすめします。(文書：大川倫正さん 取材：川勝芳明 委員)

## 農業者年金へ加入しましょう



★農業者年金は、国民年金（基礎年金）に上乗せした任意加入の公的年金制度です

- ①積立方式（確定拠出型）で少子高齢化時代に強い年金です！
- ②生活設計や経営状況に合わせて(2万円～6万7千円まで千円単位で)保険料設定が可能です。
- ③20～39歳の方には保険料の3～5割の補助制度があります。(※別途要件あり)

|      |                             |                  |         |
|------|-----------------------------|------------------|---------|
| 加入資格 | 国民年金<br>第1号被保険者<br>(免除者は除く) | 農作業日数<br>年間60日以上 | 60歳未満の方 |
|------|-----------------------------|------------------|---------|

# なんたん あっちこっち

とにかく広い南丹市。  
南丹市のあちらこちらでは、その地域ならではの面白く、  
楽しい、また興味深い取り組みがされています。  
そんな南丹市の、**あっちこっち**のできごとを紹介します。



## 吉富フォトフェスティバル(八木町鳥羽)



▲たくさんの作品が展示されています  
3月26～30日  
に、旧吉富小学校  
で「吉富フォト  
フェスティバル」  
が開催され、写真  
家や写真クラブの  
作品の展示や、木  
版画の展示があり  
ました。今回で3  
回目の開催です。

地元の方や京都で活動されている写真愛好家グループ、芸術大学の学生といった多くの方が作品を出展されていました。  
猫の写真をテーマにした部屋では、箱の中に入れて鑑賞するという独特な展示方法であり、とても印象的でした。木版画は色づかいがカラフルな作品もあり、その技法について、わかりやすく説明されていました。  
私自身、吉富フォトフェスティバルには初めて行きましたが、身近なところでこのような行事が行われていることを嬉しく思うとともに、これからも環境・歴史・文化・健康の庄(むら)を目指す吉富ノ庄は、多くの人たちとともに発信されることを期待しています。

(取材：廣瀬仁 委員)

## 委員ぶらり旅

旅人：梅津義明 委員

### 大野ダム さくら祭りを訪ねて



力強い演奏でさくら祭りを盛り上げてくれました

桜が咲き誇る会場では、新鮮野菜などの特産品が売られていたり、地域の小中学生からなる「虹の子太鼓」の演奏など、数多くの催しがありました。  
また、夜には桜のライトアップも行われ、ダムの湖面に夜桜が綺麗に映えていました。訪れたたくさんの人たちが夜桜も楽しめたかと思えます。  
平成から令和へ移ろうとしているときに、変わらぬ大野ダム公園の綺麗な桜を見ることができるとても光栄に思っています。

美山町樫原にある大野ダム公園で今春もさくら祭りが開催され、多くの観光客で賑わっており、地域の方と交流をさせていただきました。  
たくさんの方の

## 編集後記

かやぶきの里で知られている美山町北にて、お田植祭が行われ、早乙女姿の女性たちが横一列になって稲苗を植えました。(取材：梅津義明 委員)

**地域の食と農業の情報紙「なんたん」**  
自慢の農作物・地域の積極的な取り組み・地元野菜の食べられるお店など、すてきな情報をお待ちしております。  
農業委員会事務局 電話：0771-68-0067

- |                        |        |
|------------------------|--------|
| 藤谷 倉梅 谷岩宇 松福廣川 吉寺田東 田平 | ◆広報委員会 |
| 原本内津 口城野 本嶋瀬勝 見尾中野 村野  |        |
| み 義 定久三 吉重 芳 有義 靖裕 好清  |        |
| 忠ど 義 己雄治 弘樹仁明 正延二和 司久  |        |

